

# AIDS UPDATE

No.33 2002.8.13

広島大学医学部附属病院

エイズ医療対策室

内線2941 (輸血部長室)

Internet: www.aids-chushi.or.jp

## 中四国ブロック版に 広大病院のふりかえり エイズUpDateジャパン 第4巻1号

- ◆ 「エイズUpDateジャパン」は厚労省HIV感染症の医療体制に関する研究班(主任研究者:白阪琢磨国立大阪病院医長)の中で、広大の高田が分担研究者として作成しています。日本のエイズ医療も、地域の差や特徴があります。前半を共通するものとして全国版、後半を中四国版として編集しました。中四国の拠点病院などに配布しています。
- ◆ 全国版ではエイズ検査をめぐる話題で群馬大学の医療倫理学の服部健司助教授からご意見を頂きました。世界のエイズや重要な文献やウェブサイトの紹介を載せています。中四国ブロック版では、「広大病院のHIV感染症診療を振り返る」で、5年間のレビューをしました。

## 平成13年度エイズ発生動向年報

[http://api-net.jfap.or.jp/mhw/mhw\\_Frame.htm](http://api-net.jfap.or.jp/mhw/mhw_Frame.htm)

- ◆ 前回紹介したものですが、最初の2頁だけをコピーしてお示しします。広大病院の実態と重ね合わせながらご覧頂けると理解に役立つと思います。「感染経路」、「エイズ・HIV感染」、「性別、年齢、国籍」などです。



## 世界におけるHIV/AIDS流行の最新情報

～ UNAIDS・WHOの報告書 日本語版 ～

- ◆ 国連合同エイズ計画(UNAIDS)の報告書の日本語版を入手しましたので配布します。これまでに世界で6000万人がHIVに感染し、すでに2000万人が死亡しています。この数字は世界大戦なみです。今後この数はどんどん増えていくことが予想されています。

## NRTIによるミトコンドリア障害

- ◆ エイズの治療をやる上で、苦勞する点があります。中でも20年以上に及ぶと想像される薬物療法を成功させるには、副作用の問題が非常に大きくなります。薬剤が発売された時点では気がつかなかった問題もあります。「ミトコンドリア障害」はこれまで小児科領域、あるいは神経内分泌領域では意識されていたかも知れません。こんなことも起こるのですね。

## HIV感染妊婦の現状と母子感染予防

～ 広島市民病院で発表会 ～

- ◆ エイズ予防財団では、厚労省の色々なエイズ研究班の研究成果を、広く国民に還元するため発表会の開催を援助しています。昨年とは別な地方と言うことで、今年は広島が選ばれました。一般市民を含め、どなたでも入れます。

### < ご意見募集 >

「AIDS UPDATE」は今後も不定期に発行します。ご意見やご希望がありましたら輸血部までお寄せ下さい。

[TAKATA, OE]

[takata@aid-chushi.or.jp](mailto:takata@aid-chushi.or.jp)